



## 「写真集 雲 とちぎの空風景」

海老沢次雄著，随想舎，1999年，  
144頁，2,300円（本体価格），  
A4変形版（21 cm×20 cm），  
オールカラー，  
ISBN：4-88748-030-X

「出た！ 見た！ 写せ！」

これは、鈴木正一郎さんの写真集「雲」（講談社刊）で著者がとりわけ印象的に思った言葉だという。同時に、著者が雲の写真を撮る時の姿勢を端的に表している。「たった100 m先のポストにハガキを入れるために出かけるときもカメラを持っていく。これは雲の写真を撮るための鉄則である。それくらいに雲は変化が激しく、またそこが魅力である。」このようにして撮られた雲の写真集である。

著者は、現在宇都宮地方気象台の予報官である。三宅島測候所、宇都宮地方気象台、大田原気象通報所、那須岳火山観測所の勤務経験をもつ気象庁職員である。著者が撮った写真は、気象庁(1989)：「雲の観測」（地上気象観測法別冊）に数多く掲載されている。

写真集の構成は、次の通りである。

### 【Prologue】雲の発生

対流にともなう上昇気流，前線にともなう上昇気流（-温暖前線，-寒冷前線，-天気図にない前線），地形性の波動による上昇気流，空気の収束による上昇気流

### 【Section I】十種雲形

巻雲，巻積雲，巻層雲，高積雲（-ベナル対流），高層雲，乱層雲，層積雲，層雲（-霧，-地霧），積雲，積乱雲（-電光，-雷から身を守る方法，-雹，-降水），雲の分類

### 【Section II】特殊な雲

レンズ雲，吊し雲，笠雲，ロール雲，波状雲，乳房雲，尾流雲，蜂の巣状雲，かなとこ雲，ずきん雲，アー

チ雲，くらげ雲，雲海，滝雲，旗雲，ジェット気流雲，高積雲の中にできた巻雲，飛行機雲，雲にできた影

### 【Section III】大気光象

かさ現象，内かさ，幻日，太陽柱（-光柱），水平環，天頂環，上端切弧，接線弧，外かさ，幻日環（-かさ現象を見るために），主虹・副虹・過剰虹，霧虹，光冠，彩雲，ブロッケン妖怪

また，各節の扉の次に「台風の置きみやげ」，「光の春」，「樹氷」，「鮮やかな夕焼け」の写真がそれぞれ挿入されている。

写真は148葉，すべてカラーである。ブラウベルマキナ67という蛇腹式小型軽量の中判カメラで撮影された写真がほとんどだという。雲と大気光象の写真には，撮影年月日時分，撮影場所，天気図，総観気象的状况などの説明文がある。また，特定の雲や光学現象については，形成メカニズムの理解を助ける図も挿入されている。今出ている雲や光学現象の名前を知りたい，雲や光学現象の写真を撮りたい，このような場合にこの写真集が役立つ。特に，「かさ現象を見るために」，現象が現れる頻度の高い季節ごとのおおまかな時間帯を読み取れる「年間の太陽の高度角と方位の図」が利用できそうである。

著者は，次のように書いている。「写真を撮らないまでも，ぜひ，空を見上げてほしい。空をキャンパスにして雲が作り出す二度とない風景，あるいはさまざまな現象を楽しんでもらいたい。この写真集がその手助けになれば幸いと思っている。」

なお，この写真集は，有限会社随想舎（〒320-0042 栃木県宇都宮市材木町3-3，電話028-633-0489）から発行されている。自費出版物の制作も行っているという。出版案内には，「小舎出版物を書店でお求めのさいは『地方・小出版流通センター扱い』とご指定下さい」とある。

（気象大学校 水野 量）